

## 【配送モデル：概要】

# 地域の再エネを活用した水素を水素STを核として、FCFL、小型FCトラックへ供給

### 配送モデル

配送・集荷センター等の配送・集荷・輸送における地域の物流拠点を中心に水素を活用するモデル

- トラックやフォークリフトの脱炭素化の手段として、EVトラックや電動FLへの転換があるが、FC化して水素を活用した方が、航続距離が長い・稼働できる時間が長い、充填時間が短いといったメリットがあり、特に大型や高頻度で稼働する場合の活用が有望である。
- そこで、そのようなモビリティがある地域では水素を活用することが有利であると考え、小型FCトラックやFCFLへの供給を想定した水素利活用モデルについて検討し、取りまとめた。

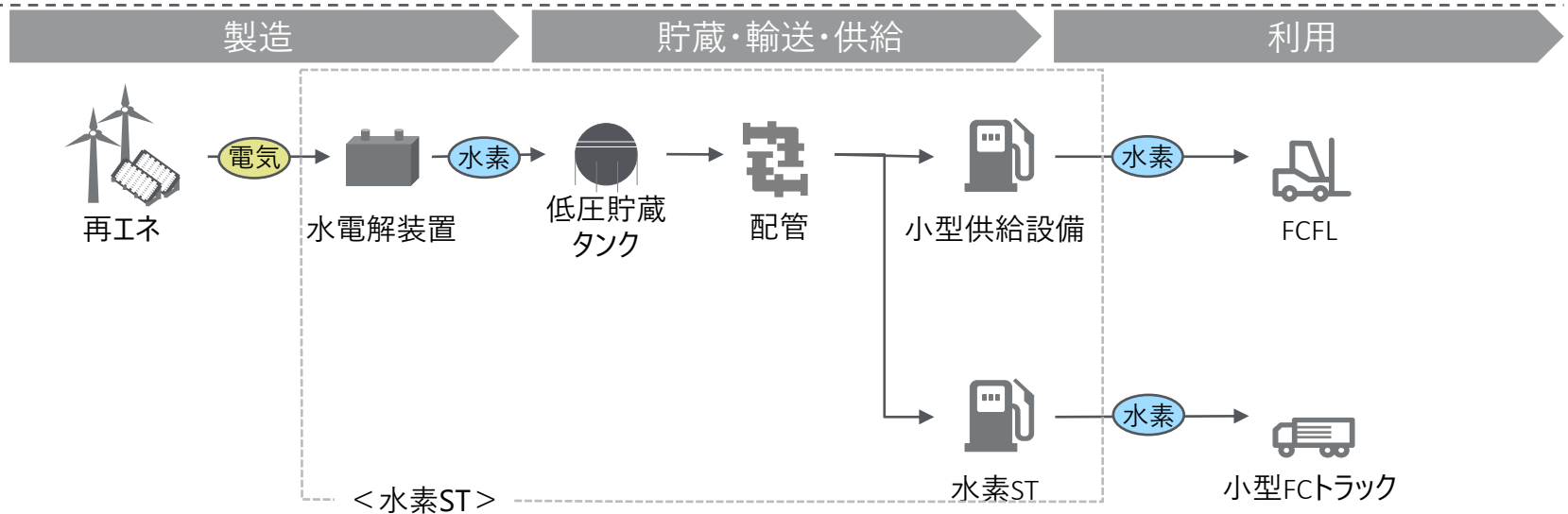
### プレイヤー例

- 製造～供給 : 再エネ発電事業者、水素ステーション事業者、ガス事業者、物流拠点又は物流拠点利用事業者
- 利用 : フォークリフトや小型トラックを保有する物流拠点利用事業者

### 事業化に向けた課題

- 物流拠点における多種多様な関連事業者との調整
- 小型FCトラックの商用化

### 事業モデルの 絵姿



## 【配送モデル：実現シナリオ】

# 導入初期に水素ステーションからFCFL、小型FCトラックへ供給するサプライチェーンの基盤を構築し、本格運用期において小型FCトラックの導入規模を拡大

